平成２５年度　関東総合バスケットボール選手権大会

男子準決勝　平成25年11月24日（日）　富士北麓運動公園体育館　大会２日目　Ｂコート 第２試合１１：１０～

〈Ａチーム〉						〈Ｂチーム〉
曙ブレーキ	87	27	－	19	66	三井住友銀行
埼玉		18	－	16		東京
		20	－	10		
		22	－	21		
			－			

主審	佐藤　誠	第１副審	稲葉　威	第２副審	小澤　朋克

S	NO	氏　名	得点	3P	2P	FT	Foul
○	3	庫山　隼輔	2	0	1	0	0
○	7	石井　孝生	11	1	4	0	1
◎	8	佐々木　陽	15	1	5	2	4
◎	9	熊　吉	4	0	2	0	2
○	11	真栄田　佑	3	0	1	1	1
◎	15	田中　洋貴	11	1	2	4	0
○	16	根元　裕貴	2	0	1	0	1
◎	17	田村　晋	10	0	4	2	1
	25	渡邉　純平					
○	31	駒水　豪		0	0	0	1
◎	32	藤原　勇介	4	0	2	0	0
○	34	金城　真悟	3	1	0	0	2
○	87	河本　裕一	22	0	9	4	1
コーチ		城迫　昇	／	／	／	／	
			87	4	31	13	14

S	NO	氏　名	得点	3P	2P	FT	Foul
	2	高橋　伸太郎					
	4	菊池　大					
○	5	山田　啓典	2	0	0	2	1
	9	眞部　径					
○	11	岩田　良介	5	1	1	0	4
	13	吉永　光宏					
◎	16	鈴木　敏嵩	4	0	2	0	1
	17	家治　敬太					
	19	西中　大史					
◎	21	井関　慎平	5	1	1	0	2
	23	原田　修太					
	28	大石　雅史					
○	31	佐藤　基一	17	1	6	2	1
○	34	木村　理		0	0	0	0
◎	51	新垣　昌彦	4	0	2	0	2
○	81	清水　洋	3	1	0	0	3
◎	91	加藤　耕太郎		0	0	0	2
◎	92	小松　昌弘	26	4	5	4	3
コーチ		中井　敏昭	／	／	／	／	
			66	8	17	8	19

◎:スターター　○出場　3P:3点シュート（本数）　2P:2点シュート（本数）　FT:フリースロー（本数）　Foul:パーソナルファウル

戦評	記入者：山本　裕

１Ｐ　両チームともハーフコートのマンツーマンでスタート。序盤、三井住友が素早いボールの展開から＃２１のミドルシュートや＃９１の３Ｐなどで主導権を握る。対する曙ブレーキは＃１５の３Ｐなどで応戦し、ゲームが動き出す。開始から５分をすぎると、曙ブレーキが激しいディフェンスから相手のミスを誘い、ファーストブレイクで逆転に成功する。曙ブレーキ＃９がよく走り、内外共に良く攻めて８点差で１Ｐを終了する。

２Ｐ　曙ブレーキはメンバーを入れ替えながら激しいディフェンスと素早いパッシングで得点を重ねる。対する三井住友は＃９２の１対１などで追いすがるが、シュート確率がなかなか上がらない。曙ブレーキがベンチメンバーをふくめてタイムシェアしながら、激しいディフェンスとパッシングオフェンスでリードを広げ、１０点差で前半を終了した。

３Ｐ　後半開始早々、曙ブレーキ＃１７のローポストの合わせや＃１５のファーストブレイクなどで一気に１６点差にリードを広げる。三井住友はたまらずタイムアウトを取りディフェンスを２－３ゾーンに変えるが、曙ブレーキはインサイドアウトからのシュートが良く入り主導権を渡さない。５分過ぎ、２３点差にリードを広げられたところで三井住友は2回目のタイムアウトを取る。三井住友は＃３１の３Ｐやリバウンドシュートなどで応戦するが、曙ブレーキは選手を入れ替えながらゲームを支配し２０点差で３Ｐを終了する。

４Ｐ　開始から三井住友はオールコートのマンツーマンで激しく守り、ファーストブレイクや＃８１の３Ｐなどで得点し、点差を縮める。曙ブレーキは＃８７の１対１などで応戦し一進一退の攻防が続く。三井住友は５分過ぎ最後のタイムアウトを取り、ディフェンスのプレッシャーを強める。三井住友は＃３１の１対１や＃９２の外角シュートなどで追いすがり１７点差に縮めるが、曙ブレーキも冷静にボールを運び、最後まで主導権を渡さない。激しいマンツーマンと内外バランス良く攻めた曙ブレーキが最終的に２１点差で勝利を収める。三井住友も最後まで諦めずよく食い下がるが、シュートの確率が上がらなかったのが悔やまれる試合となった。